

1日20分読書で出会える「宝本」

～絆を深め、感動を味わい、
自分を見つめる大切な一冊～

「1日20分読書」とは、全ての子どもが読書に親しむように、1日のうち、20分程度の読書に取り組みましょうということです。鹿児島県立図書館では、「1日20分読書」とおして、「宝本」の取組を呼びかけています。

「宝本」とは？

○ 絆を深め、感動を味わい、自分を見つめる大切な一冊を「**宝本**」と呼んでいます。

○ 「**宝本**」は成長に応じて、次のように広がっていきます。



○ おやこ一冊読書による、おやこのふれあいの中で生まれます。

- ・親子で読んで、楽しいひと時を過ごせたら……。
- ・親子で感じたことを語り合えたら……。
- ・子供が繰り返して読んでほしいと言ったら……。



○ 楽しみながら読み、感動することで生まれます。

- ・主人公になりきって、夢中で読める本に出会えたら……。
- ・心をゆきぶられる本に出会えたら……。
- ・びっくりするような新しい知識に出会えたら……。



○ じっくりと読み、自分を見つめることで生まれます。

- ・自分の生き方を見つめることができたなら……。
- ・自分の将来に夢や希望を持つことができたなら……。
- ・ものの見方、感じ方や考え方を深め豊かにすることができたなら……。

あなたも1日20分読書で「**宝本**」を見つけてみませんか？